



2007

MONTHLY

MARCH

BANANA NEWS

ホームページにも情報満載!

バナナ園

検索



デイサービス
バナナ園
↓
認知症専門
044-588-0890



川崎大師バナナ園にて南大師中学校生徒さん 「体験学習」受け入れ

川崎大師バナナ園では川崎市立南大師中学校(川崎区:渡邊洋子校長)の「総合的な学習の時間」の「体験学習」の場として、2月13、16日の両日、生徒さん7人の受け入れを行いました。これは、生徒さんたちに、色々な方のお話を伺ったり交流体験等を通じ、学習することにより「よりよく生きる」「共に生きる」ことを考える一歩にしてもらうため。特に今回は様々な分野で話題になっている「認知症」にもスポットをあて、この「体験学習」を認知症対応グループホーム「川崎大師バナナ園」にて行うこととなった。当日は、入居者たちも珍しいお客様を大歓迎!生徒さん達との会話や川崎踊りに拍手喝采、交流を楽しんだ。核家族化がすすみ、普段お年寄りとのふれあいや交流が少なくなってきた生徒さんにとってもお年よりたちとの会話や施設での生活を実体験することにより、かけがえのない思い出作りとなったようだ。「普段の教室での授業とは違い、人と人とのふれあいが感じられてとても楽しかった、お年寄りと接することにより優しい気持ちになれた」「認知症と言われてますが、お話をする限り普通のお年寄りと変わらず、皆で会話を楽しむことが出来た」「お年寄りから聞く昔のお話はとても楽しく、おじいさんやおばあさんの若かった頃の時代に行ってみたくなった」と、優しい感想が寄せられた。昨今、「ゆとり教育」の是非や「いじめ問題」が話題になっているが、訪問してくれた南大師中の生徒さんは、皆素直で優しいばかり。地域とのかかわりやふれあいを進めていく上で、今後も積極的にこのような場を提供していきたいとスタッフは語っていた。

<2月16日:まずは自己紹介から>



第2バナナ園にて恒例 「音楽療法」&「運営推進会議」開催

さる2月24日幸区のグループホーム第2バナナ園にて、入居者家族、地域住民、行政関係の皆様をお招きし、より良い施設運営を目指し「運営推進会議」を開催。更に当日は、高齢者のための音楽療法も実施。第2バナナ園では既にこの音楽療法を1年半以上前から導入、入居者や家族にとっても月に一度のお楽しみのイベントになっています。講師の高橋佐智代さんはペンネーム<岡さちよ>の名前で歌手の浅香唯さん、折笠愛さん等に楽曲を提供しているプロのソングライター、もともと音楽の力で多くの人々に夢や希望、感動を伝えるのが本職、更に多くの皆さんに音楽の力で役に立てればと本職とは別に音楽療法士の勉強をされている。高橋講師のスムーズな話術やうながしで普段はむっつりした高齢者も楽器や道具を使用し、大盛り上がり。第2バナナ園ではこの「音楽療法」が功を奏してか、入居者は皆元気そのもの。認知症では珍しくない「昼夜逆転現象」もこの施設ではなくなり「いわゆる睡眠導入薬利用の入居者もゼロと具体的な効果もあらわれてきた」と管理者の梅山もうれしそう。「音楽療法」の具体的な導入方法等は☎044-587-1773<第2バナナ園>迄!



講師の高橋佐智代先生

地域での指導者・リーダーを目指し、福祉活動に活かす!

第10回認知症地域介護指導者・予防運動研修のご案内

★研修を受けて、地域の福祉活動で活かす。そんな地域福祉をサポートする方、地域福祉に興味ある方・専門的な知識を学びたい方・有償ボランティアに興味のある方歓迎。有償ボランティア希望者には市内の施設を紹介します!! 研修後希望者には認知症サポーター、アドバイザーとして活躍していただく予定です。

■研修会場:NPO法人福祉振興会 中原区民館会議室<武蔵小杉駅下車5分>、エポック中原会議室<武蔵中原駅下車1分> 及び各施設

■研修日程:平成19年3月17日(土)・24日(土)・25日(日)・31日(土)

■研修対象:一般の方(高齢者を支えるご家族)・定年後の有償ボランティア希望の方、施設経験者のレベルアップ等

■募集定員:30名(先着順受付・定員になり次第締め切らせて頂きます)

■受講料:1日2,000円×日数 4日間=8,000円(テキスト・実習費用込み) 学生は無料

■応募方法:申込書記入の上、FAXにてお申込下さい。 ※追ってこちらより受講案内書をお送りいたします。

■協賛:社団法人 長寿社会文化協会・WAC あいネットワーク・地域創造ネットワーク

<講義内容>(一部抜粋)

3月17日◆医療から見た認知症の対応・援助◆ 9:15~12:00

・認知症の理解(①心理的理解と対応 ②行動障害の理解と対応)・認知症の家庭でのケア

3月24日◆認知症の予防と早期治療◆ 9:00~12:00

・認知症の予防と運動トレーニング・認知症対応の施設で行うプロのケア

(①施設責任者の取組みと改善 ②認知症ケアの質の向上を目指す運営と方向性)

3月25日◆施設で行う認知症の視点:今後の介護動向◆施設実習13:30~17:00:記録の作成・活用法

3月31日◆認知症疑似体験:認知症を支える地域でのネットワーク作り

◆ 9:15~12:00:ヘッドマウントディスプレイによる疑似体験他

お問合せ先 NPO法人 福祉振興会 研修担当(小関・福本)

※お問合せ時間は(月)~(土)9時~16時まで

フリーダイヤル:0120-14-4137/FAX:044-433-4712

定員 30人
<先着順>



**連載② Dr. 洪太の
訪問歯科日記
口腔<くわう>ケアに注目を!**

皆様こんにちは。暖冬といわれ、暖かい日が続いていますがいかがお過ごしでしょうか。実はこの3月で私が訪問歯科診療をはじめてちょうど2年になります。今回は私にとって思い出深い患者様のお話をさせていただきます。昨今私たちの業界（歯科医師）や介護の業界では常識と言われている「口腔ケアの重要性」ですが、一般の方々で実行あるいは必要性を認識されている方はまだまだ少数であるのが現実です。

その患者様のご家族も、実はヘルパーさんの助言で私どもの診療所にケアの依頼をしにこられました。「歯茎がはれているので見て欲しい」とのこと。お宅に伺い、口の中を見ると、まだご自身の歯でお食事できるくらい歯がのこっているの「口腔ケアの必要性」そして「方法と簡単な歯間ブラシの使用法」を説明、その後週に一度様子を見ていくことになりました。ご本人、ご家族と看護師さんの丁寧な口腔ケアの甲斐があり、歯茎の炎症はじょじょに快方へ。それとあわせるように食欲がでて、よくお話もするようになってきたのです。ご家族からは嬉しそうに「今日は何を食べた」「あれも食べれるようになった」という報告とともに「おいしい!」と言いながら楽しく食事をしてくれるので、介護のし甲斐があり「口腔ケアを依頼してよかった」とも言って頂きました。診療にいく度に嬉しそうに話されるご家族や患者様を見て「口腔ケアの重要性」や「効果」を逆に教えられた気がします。訪問をすることにより理屈ではなく現実として教えられたのです。もちろん全ての患者様とこんなに上手くコミュニケーションを取れているわけではありませんが、もっと多くこういう患者さんと出会いたいという気持ちが私の仕事に対する原動力になっているのです。

また皆様も、介護される高齢者の方が「皆様ご自身もですが」単に虫歯の治療だけでなく「口腔ケア」<基本は歯、口腔内の粘膜、舌、入れ歯等の清掃です>を行うことで、本能である「食」やコミュニケーションの基本である「会話」といった口腔機能を取り戻し、それにより全身状況が一変する可能性もあるということをご認識していただければと思います。



高橋洪太先生



日航ビル歯科室は川崎駅前日航ホテル内。バナナ園グループの訪問診療も担当。TEL 044-221-6321

グループホーム空室情報

空室情報、入居に関するお問い合わせは下記の各施設もしくは総合案内
☎044-433-4651
までご連絡下さい



バナナ園グループ

- グループホーム「川崎大師バナナ園」☎ 044-280-2386
- グループホーム「バナナ園」☎ 044-588-0645
- グループホーム「第二バナナ園」☎044-587-1773
- 高齢者ケア付住宅「IDS バナナ園」☎044-580-3210
- グループホーム「バナナ園ほりうち家」☎044-722-5361
- グループホーム「のんびりーす」☎044-797-3314
- グループホーム「バナナ園生田ヒルズ」☎044-911-1599
- デイサービスバナナ園☎044-588-0890
- あいケアサービス☎044-433-4651
- すこやかケアプランセンター☎044-411-3120

カイゴのゴカイ⑬

～介護の誤解～

「環境づくりに思いやりをプラス」

普段、親の介護はしていないが、時々実家の両親を預からなければいけない、兄弟で交互に親の面倒を見なければならない、こんな経験をされる方も多いのではないでしょうか？

一般的に皆住み慣れた環境で暮らしたいと考えるものです。環境が変わるといことは高齢者ではなくても面喰うことがしばしばあります。旅行にでかけ一泊した翌朝、目覚めた時の不安な気持ち、どなたにも経験があると思います。「ここは何処?」「どうしてこんな所にいるの?」一時的に混乱し、ようやく旅行をしていると気づきほっとするわけです。ましてや、新しいことに順応していくことが困難な高齢者や認知症の方はわかりずです。旅行やお泊りは勿論、入院や施設など住環境が変わったときに認知症状が助長されたり、一時的に認知状態に陥ったりすることがあります。そんな高齢者の心の中を想像してみてください、不安で不安でいっぱいなのです。しかし、一般的に私たちが何か行動を起こす時、特に「楽しい時」「前向きに自分の意思で何かをしている時」環境に関してはさほど気にならないものです、なぜか?簡単に言えば「何かに夢中」になっているからです。その考えを発展させていくと、その方のいちばん輝いていた、楽しかった時代に思いを馳せていけるようなかわりかたをするというのはどうでしょう?受け入れる時には「孫とのふれあいをセッティングする」「孫や家族とのアルバムや写真を用意する」「皆で行ったレストランで夕食をしてみる」「昔流行ったCDやDVDを用意する」そんな小さな心遣いが意外と環境への順応を早めてくれるものです。その人らしいでできること、得意なことを引き出し、話をしてもらう準備をし、環境を整えることで張り合いをもてるようになるのです。それは生きがいを持つということにも繋がってくるはずですよ。



この店がお薦め!⑫<天ぷら>

天浜

揚げたての天ぷら+釜炊きのご飯

第12回はバナナ園グループスタッフご最良天ぷらのお店「天浜」さんをご紹介します。武蔵小杉駅北口から南部沿線道路を川崎方面へ約100M、マスターの浜田伸博さんは都内の一流店、赤坂「花むら」三田「泉屋」で修行を積み、昭和53年に独立しこの店をオープン。カウンターに座りながらその場で季節の旬の食材を揚げたてのてんぷらで一杯もよし、ランチの天丼<¥650>天ぷら定食<¥750>も絶品、しかもごはんは釜炊き!今年で創業29年、長く店を続ける秘訣はやはり「味」と伸博さん、久栄さん<奥様>は口を揃える。そのポイントは「油と温度」そして「職人の感」と一言。同じ店で修行した職人が同じ食材を揚げてもやはり微妙に味は変わってくるという。修行時代の「泉屋」が三田慶応大学前にあったため、最良にしてくださる先生方が日吉校舎に向かう途中によってくれたりと、都内、横浜からのお客さんも多いという。

- 川崎中原区新丸子東2-906-29
- 11:30~13:00<ランチ>
- 17:00~21:00<日曜定休>
- ☎ 044-411-4159

浜田伸博さんと久栄さん



月刊 MONTHLY BANANA NEWS (毎月1日発行)

編集:あい。介護ネットワークス
川崎市中原区上丸子八幡町816 ☎044-433-4651
<HP> <http://www.bananaen.com/>

介護無料相談受付中<月~金:9:00から17:00>

フリーダイヤル 0120-144-137